

ゆとりある教育を求め 全国の教育条件を 調べる会 ニュース

2014.3.26発行

NO.35

冬研等報告と春研お知らせ

奈良教育大・埼玉大・東京学芸大 の学生さんにお話しできました！

12/7 井深雄二教室 大学生8人

「教職員の非正規化の現状と問題点」について山崎洋介が、「東北大震災後の教員配置の調査方法に関する一提案」と題して橋口幽美が、報告しました。2年生が中心で、教員を目指すかどうかを含め考え中とおっしゃる方も、真剣に聞いてくれました。

1/25・26 ウィズユーさいたま 大学生4人

冬研に、高橋哲先生のご紹介で、埼大生3人も参加。報告5本と盛りだくさんの内容でした。高橋先生のアメリカ教育改革のお話は、リアルタイムの怖い内容でした。山崎事務局長の「H24年度文科省予算案の分析」では、iPadで検索したOECDの文書を英訳しながらの議論も行われ、若者が活躍する研究会になりました。

<当日の詳細は裏面参照>

1/27 大森直樹教室にて大学院生12人

中国の留学生が8人もいらっしゃるのに驚きました。中には小学生の子どもさんがいる方も。橋口が提示した47都道府県のグラフは、ピンと来なかったかもしれません。「東北大震災後の被災3県の教員配置の現状と問題点」というのが、大森先生から頂いた課題だったのですが、「調査方法の一提案」にとどまりました。

調べる会・春研 in大阪

2014年 4月26日(土)午後1時~
27日(日)午後4時

会場 たかつガーデン(紅白梅の間:和室)

TEL 06-6768-3911

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町
7番11号

最寄駅 <近鉄> 上本町駅より徒歩3分

<地下鉄> 谷町9丁目駅より7分

参加費 1000円

内容 文科省H26年度予算についての分析

<調べる会事務局長見解を同封します。>

報告者 山崎洋介事務局長

○2014年度日本教育法学会提出論文の検討

○その他

日本教育新聞の取材を受けました

本会のHPを見た日本教育新聞北嶋記者から取材の申込があり、会員の山崎、鈴木が再任用教員の問題点についての取材を受けました。記事は3月10日付の一面で特集「再任用の現場から4 『定数くずし』と重ねる見方も」として掲載されました。(別紙参照)

お知らせ

「日本の民主教育
2013」千円です。

昨年の夏に行われた教育のつどいの記録集が発行されました。本会も実行委員会に参加していますので、通常は二千八百円+税のところ
が千円で購入できます。
希望の方は、事務局までご連絡ください。

徳島で教育条件整備に かかる講演会

5月10日(土)

会場 徳島市

講師 山崎洋介

本会ホームページ担当の

井村雅彦さんの紹介による
ものです。

日本教育法学会

5月24日・25日

北海道大学

テーマ 新教育基本法と

教育再生実行戦略

傍聴のみの参加費千円

研究交流会 in ウィズユー・さいたま セミナー室

2014年 1月25日(土)

14:00 ~ 15:30

「アメリカ教育改革の新動向 財政誘導による新自由主義教育改革」

報告者：高橋哲（埼玉大学）

15:40 ~ 17:00

「東日本大震災後の被災3県の教職員配置の変容 - 情報公開の活用や統計から見えてくるもの」

報告者：橋口幽美（宮崎県 元学校事務職員）

2014年 1月26日(日)

9:30 ~ 10:40

「長野県の35人学級実現のとりくみと課題」

報告者：高木義隆（長野県教組）

10:50 ~ 12:00

「再任用教員制度の現状・地域の少人数学級・教員の勤務時間」

報告者：鈴木つや子（愛知県 元教員）

13:00 ~ 14:30

「教職員定数初の純減となる平成26年度文科省予算に関する見解（案）」の報告と検討

報告者：山崎洋介（本会事務局長 奈良県教員）

参加者の感想など

- これまで、ふれたことの無いテーマだったが、興味を持った。参加して良かった。
- アメリカでの動きは、日本とそっくりで怖い。注視する必要があると思った。
- データの調査をやらなければと、改めて痛感した。
- 長野県の地道な運動の様子がよく分かった。他の人にも聞かせたい。
- 再任用の問題について、よく調べていて参考になった。
- 政策の動向に対して、機敏な分析に敬意を表する。重要な活動だ。

当日配布資料の残りが、8セットあります。希望する方は、ご連絡ください。
(資料代1000円と送料をご負担願います。郵便振替用紙を同封いたします。)

このニュースは会員以外の方にもお送りしています。ご意見・ご感想などお寄せください。